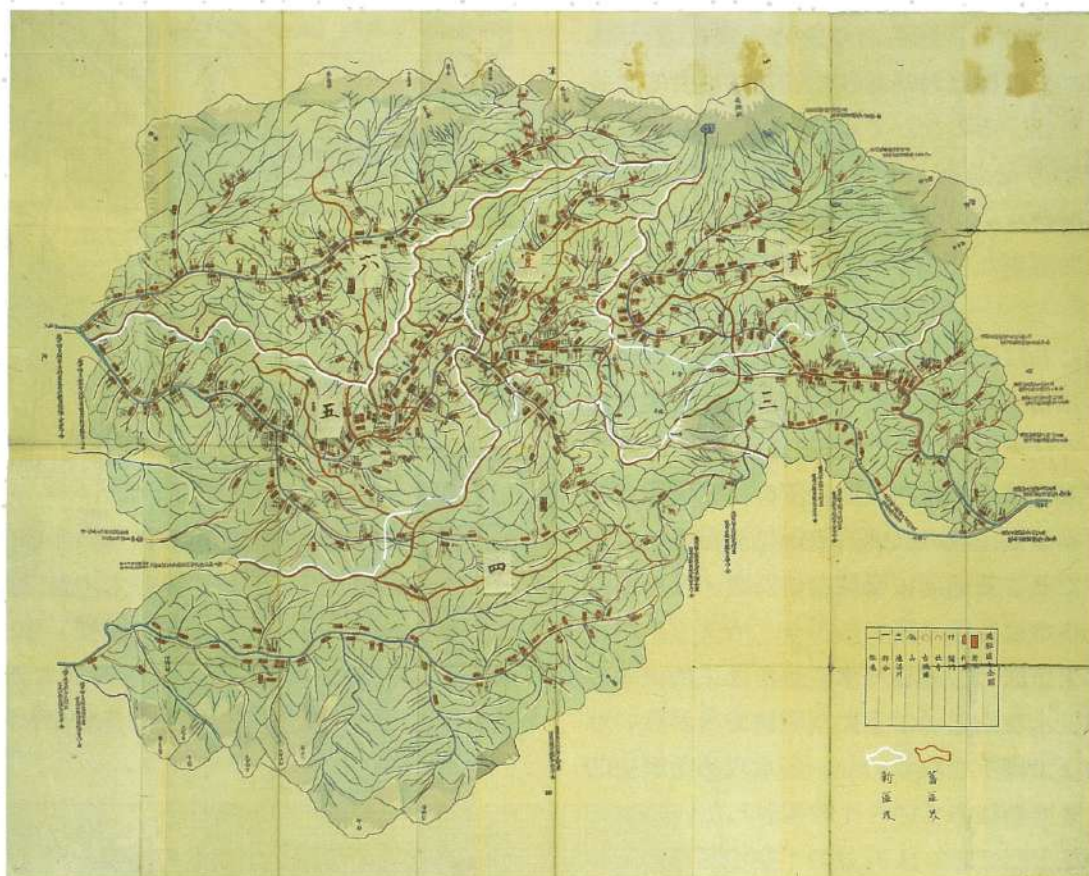




(外)「飛騨国絵図 全」

作成年 明治初期 / 作者 不詳 / 原寸 98 × 122cm / 木版多色刷
岐阜県図書館蔵

今年は、明治9（1876）年8月21日に美濃と飛騨が合併し、岐阜県が成立して150年になる。

美濃国は、江戸時代を通じて幕府の直轄領（天領）や旗本領が多く、藩としては大垣藩や加納藩、郡上藩、岩村藩、苗木藩、高富藩、高須藩の7藩が主要藩（明治維新直前に今尾藩と野村藩が成立 廃藩置県により笠松県を含めて9県が成立 高須藩は名古屋藩に併合）であった。その後、明治4（1871）年11月22日に美濃の9県が合併して岐阜県が成立した。

一方、飛騨国は、金森氏が元禄5（1692）年に出羽国上山藩へ移封されて後は、幕府の直轄領となり明治維新を迎える。

本図は内題に「飛騨国中全図」とあるが、現在の高山市の位置に「高山県」と表記されており、明治元（1868）年5月23日に成立した「飛騨県」を経て同年6月2日に高山県に改称され、その後、筑摩県に編入された明治4（1871）年11月20日までの約3年半の間の様子を描いた地図である。

右下に府縣（県）・村名・関門・社寺・古城跡・山・池沼川・

部分・往來の凡例が記載されているが、特筆すべきは凡例の欄外に舊（旧）区界（赤色）・新区界（白色）が追記され、図上にそれらの区界が施されていることである。

明治4年4月の戸籍法の制定（壬申戸籍）により、府県の下に大区小区制が実施され、これが新しい行政単位となった。飛騨3郡は、高山県時代は19大区に、筑摩県になってからは6大区に分割された。

6大区については、本図では高山町がある中心部を壹区とし、右回りで六区の付箋が付してある。したがって、本図は、高山県が筑摩県に編入された時期の地図でもあることが分かる。そして、明治9年に筑摩県から旧高山県時代の飛騨3郡（大野郡・吉城郡・益田郡）を岐阜県に編入し現在の岐阜県が成立した。

本図には、主要街道や集落の分布、河川や山等の自然環境が描かれ当時の地勢を把握することができる。また、寺社の名称や位置、国境（県境）までの距離が詳細に記載されている。

岐阜県古地図文化研究会

〒500-8368 岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館内 TEL.058-275-5111(代) FAX.058-275-5115

E-Mail mapstaff@library.pref.gifu.jp URL <http://www.library.pref.gifu.lg.jp>